



おやこ通信

第22号



今年の秋はおたふくかぜが流行しました。その時によく聞かれたのが、「登校（登園）はいつからしていいですか？」でした。きちんと治してからでなければ周りのお友達にもうつしてしまいますし、体力が落ちていると自分自身も他の病気をもらってしまうことがあります。今回はそれぞれの病気の潜伏期間と登園・登校の目安をまとめてみました。

病名	潜伏期間	登園・登校再開の基準
インフルエンザ	1～3日	丸2日間の平熱が続いたら
水痘（水ぼうそう）	2週間前後	すべての発疹が痂皮化（かさぶた）したら
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	2～3週間	耳下腺の腫れが消えたら（家族から見て、もとの顔に戻ったら）
咽頭結膜炎（プール熱）	5～10日	主症状（熱・のどの痛み・目の充血など）がおさまってから、丸2日を経過するまで
風疹	2～3週間	発疹が消えるまで
麻疹（はしか）	10～12日	熱が下がり、丸3日の平熱が続いたら
手足口病	3～5日	食欲が回復して、水疱が目立たなくなったら
伝染性紅斑（りんご病）	2～3週間	発疹が出た時点ですでに感染力はないが、妊婦に感染すると胎児に重大な影響がでるため、妊婦との接触はなるべく避けた方がよい
溶連菌感染症	2～5日	熱がさがっており、治療（抗生剤）開始後24時間以上経過してから

上記の病気以外にも胃腸かぜの時は「下痢がおさまり、給食が食べられるようになってから」咳が出る時は「マスクを着用する」など本人も周りも気持ち良く過ごせるといいですね。



あわてずに
しっかり治そうね